

## 《参考資料》 第2回目の検証委員会等で示した写真

事故当時、登れない山ではないことを、教職員、児童は十分認識していました。



### ①校庭脇の山

平成22年6月、低学年が授業で登っている様子。校長先生が撮影し、廊下に掲示してあった。この高さまで津波は到達していない。野球のスポ少のボール拾いでも日常的に登っていた。土留め工事が施されている。



### ②校庭脇の山(①よりさらに上)から撮った写真

撮影は校長先生。平成22年に撮影したもの。21年にも同じ場所から撮影。いずれも校内に掲示してあった。



### ③体育館裏の山(河北新報より)

平成19年までシイタケ栽培の体験学習が行われていた。多くの保護者は、万が一津波が来てもここに逃げているだろうと考えていた。現在は立ち入り禁止で草が生い茂っている。



## 検証に必要と思われる主な事項

(2013.10.26までのとりまとめに記載されているかどうか)

項目の分類 : 1 学校 2 当日の様子 3 事後対応 4 山は登れるか

No.	分類	分類2	内 容	ソース	検証	備考
1	2	当日の様子	当日の動き			詳しい議論なし
2	2	当日の様子	当日の動き			詳しい議論なし
3	2	当日の様子	当日の動き			詳しい議論なし
4	1	学校	経営理念		○	なぜ、21年度まで取り組まなかったのか、議論はなし。
5	1	学校	備え		○	
6	1	学校	備え		○	
7	1	学校	その他	アンケート調査	○	
8	2	当日の様子	状況	目撃証言	○	
9	2	当日の様子	状況		○	
10	2	当日の様子	状況		○	
11	2	当日の様子	他校		○	
12	2	当日の様子	津波の様子		○	
13	2	当日の様子	津波の様子		○	
14	2	当日の様子	津波の様子		○	
15	2	当日の様子	当日の動き		○	
16	2	当日の様子	当日の動き		○	
17	2	当日の様子	当日の動き	勤続年数	○	勤続年数で判断するものなのか
18	2	当日の様子	当日の動き	証言	○	
19	2	当日の様子	当日の動き		○	
20	2	当日の様子	当日の動き		○	
21	2	当日の様子	当日の動き		○	それ以前に車で逃げた人は?
22	2	当日の様子	当日の動き		○	
23	2	当日の様子	当日の動き		○	
24	2	当日の様子	当日の動き		○	
25	2	当日の様子	当日の動き		○	
26	3	事後対応	3月16日の報告書		○	
27	3	事後対応	聞き取り		○	隠そうとしている事実があるのは明らか。それはなぜかを調べること
28	3	事後対応	説明会		○	意図を調べること
29	4	山は登れるか			○	
30	1	学校	経営理念		○	前年度との比較必要
31	2	当日の様子	状況		○	



項目の分類 : 1 学校 2 当日の様子 3 事後対応 4 山は登れるか

No.	分類	分類2	内 容	ソース	検証	備考	
32	2	当日の様子	状況	大川小にはCDラジカセがあった		○	少なくとも一台
33	2	当日の様子	津波の様子	子どもを襲った津波は15:37頃到達		○	
34	2	当日の様子	当日の動き	市職員が体育館に入れるかどうか確認に来た。照明などの落下などにより危険と判断		○	
35	3	事後対応	聞き取り	聞き取りメモを廃棄		○	
36	4	山は登れるか		体育館の裏の山は数年前までシイタケ栽培で登っていた。		○	
37	4	山は登れるか		裏山に詳しい教職員はいなかった。		○	
38	4	山は登れるか		山は危険だと思っていた		○	
39	1	学校	経営理念	校長は自分の決めた教育目標を覚えていない。	説明会⑤議事録	×	
40	1	学校	備え	教職員は引き渡しについて把握していなかった。二日前保護者から引き渡しについての問い合わせを受けたとき、職員数名で話し合ってから何も決めていないと答えた。	証言	×	
41	1	学校	備え	近隣の空き地か公園という避難場所について、職員間で共通理解が図られていない	説明会議事録	×	
42	1	学校	備え	引き渡しカードを活用しているという計画を市教委に提出しながら、校長はその存在を知らなかった	説明会議事録	×	
43	1	学校	備え	二日前の地震のとき、校長、教頭、教務は「津波が来たら山に」という話をした。	説明会①議事録	×	
44	2	当日の様子	状況	間垣は防災無線が鳴らなかった(電池切れ)		×	
45	2	当日の様子	説明の矛盾	A教諭は波を被ったと説明を受けたが、A教諭は、濡れていない。	千葉自動車社長他、複数証言	×	
46	2	当日の様子	説明の矛盾	A教諭はB君より先に山に登っている	子どもの証言	×	
47	2	当日の様子	他校	大川小より上流の、横川保育所、飯野川一小も山に逃げている		×	
48	2	当日の様子	津波の様子	北上川の水が引いていったので、津波を予測できた	目撃証言	×	
49	2	当日の様子	津波の様子	信号よりはるか上の波。橋の一番上にも激しい傷。案内板の上部に漂流物。	目撃証言、津波後の様子	×	
50	2	当日の様子	津波の様子	子どもたちは川からの水に飲み込まれ、その後すぐに海側から陸を遡上した波が襲い、校庭で渦を巻いていた。	説明会②	×	
51	2	当日の様子	津波の様子	波の到達は①富士川から町裏へ越流②北上川から巨大な波③陸を遡上の順、子どもを襲ったのは②		×	
52	2	当日の様子	津波の様子	津波の挙動については、遺体の状態や発見場所、瓦礫等の堆積、谷地中の山の削れた状態などが参考に	捜索にあたった人の証言	×	
53	2	当日の様子	当日の動き	校庭でたき火の用意をしていた	児童、保護者の証言	×	
54	2	当日の様子	当日の動き	引き渡し対応のために、C先生が校庭に残っていた	児童の証言	×	
55	2	当日の様子	当日の動き	校庭での教職員同士の話の中に「10mの津波だそうです」という言葉が使われていた。	迎への保護者証言	×	
56	2	当日の様子	当日の動き	三角地帯へ行こうと言ったのは教頭先生	児童の証言	×	
57	2	当日の様子	当日の動き	地域の人は交流会館へ入っていった	児童の証言	×	
58	2	当日の様子	当日の動き	50分間の早い段階で「山」か「校庭か」の話題になり、山は危険なので校庭にとどまることになっ	説明会③	×	
59	2	当日の様子	当日の動き	15時29分に、迎えに行っていた保護者が、「校庭にいます」というメール	メールが残っている	×	知り合い
60	2	当日の様子	当日の動き	15時35分に車で釜谷町裏の家を出て、学校の前を通り間一髪で雄勝方面に逃れた人の証言	証言	×	
61	2	当日の様子	当日の動き	移動する列には地域住民はいない。	児童の証言	×	
62	2	当日の様子	当日の動き	防災無線(のようなもの)を聞いた。津波が来ることを伝えた。高さも言っていた。6mと言っていたが、10mとなり、途中で切れた。どこに逃げればいいのか分からず不安だった。母が迎えに来た。車の中でこわくて泣いた。	児童証言	×	
63	2	当日の様子	当日の動き	家族以外に引き渡さなかった。	証言	×	
64	2	当日の様子	当日の動き	山さ逃げようと言った子どもがいた	児童証言	×	精査中
65	2	当日の様子	当日の動き	A教諭は、校舎から出るとき「津波が来る、山に逃げるぞ」と子どもたちに言っている。	児童証言	×	
66	2	当日の様子	当日の動き	A教諭が「山へ」と進言	児童証言、FAX	×	
67	2	当日の様子	当日の動き	B教諭が「山へ」と進言(泣きながら)	児童証言	×	
68	2	当日の様子	当日の動き	区長がバス運転手に「子どもを乗せて雄勝方面へ」と進言	無線	×	

項目の分類 : 1 学校 2 当日の様子 3 事後対応 4 山は登れるか

No.	分類	分類2	内 容	ソース	検証	備考	
69	2	当日の様子	当日の動き	バスは子どもを乗せて、すぐに逃げるために方向転換をして、玄関前に駐車し直している。	目撃証言	△	何のために方向転換をしていたのか説明なし
70	2	当日の様子	当日の動き	15時過ぎに児童を迎えに行った保護者がカーラジオを聴いて、津波が来るから山へ逃げて」と進言。「大丈夫です。お母さん落ち着いて、と言われた。交流会館前にいた知り合いにも、同じように避難を進言。その人は逃げて助かった。	保護者の証言	△	逃げた人の話はなし
71	3	事後対応	3月16日の報告書	その報告書は24年5月まで明らかにされず。情報開示による指摘で初めて存在が分かった。		×	
72	3	事後対応	3月16日の報告書	その報告がありながら、6月の説明会では12分前に避難と説明。		×	
73	3	事後対応	3月16日の報告書	その報告書は15日にメールで連絡を取り合ったA教諭からの情報を受けてのもの、と考えるのが自然だが、校長は避難所等での側聞と言っている。校長は側聞した際の状況は、何も説明できない。男なのか、女なのか。大人なのか子どもなのか。すべて忘れたと言っている。もしそのような話を耳にすれば、校長として「詳しく教えてください」となるべきではないか。		×	
74	3	事後対応	3月16日の報告書	23年6月に来たと言われるA教諭のFAXはいつ、誰が受け取ったのか不明である。	説明会	×	
75	3	事後対応	A教諭のFAX	A教諭のFAXをすぐに公表せず、そのまま隠そうとしていた		×	
76	3	事後対応	A教諭のFAX	A教諭のFAXを市教委内部でも隠していた		×	
77	3	事後対応	A教諭のFAX	校長は3月15日にA教諭とメールでやりとりをした。		×	
78	3	事後対応	初期情報	そのメールは削除した。		×	
79	3	事後対応	初期情報	校長はA教諭と3月16日に電話で話をした。		×	
80	3	事後対応	初期情報	校長が現場に行ったのは3月17日、報道の車に同		△	
81	3	事後対応	説明会	説明会②の後、マスコミの取材には「遺族は納得」と回答		×	
82	3	事後対応	説明会	第1回目の説明会は非公開の上、議事録作成せず、録音もなし。第2回目も詳しい議事録なし。		×	
83	3	事後対応	説明の矛盾	4月の説明会まで「倒木のため山へ避難しなかった」と説明		×	
84	3	事後対応	説明の矛盾	山さ逃げようという子どもがいたと複数の生存児童が証言しているが、その証言を市教委は否定	子ども、市教委どちらかが違うと市教委は言っている。	×	
85	3	事後対応	説明の矛盾	聞き取り調査の報告書に、実際の証言と違う部分が多い。	子どもの証言	×	
86	3	当日の様子	当日の動き	バス会社から子どもを乗せて逃げるように進言	証言	×	
87	4	山は登れるか		平成22年の6月に、3年生が生活の授業で登った。その様子を校長先生が撮影した写真が廊下に掲示されていた。つまり、あの日に校庭にいた全員が山に登れることを知っていた、ということである。	写真	×	
88	4	山は登れるか		校長先生は毎年、山の上から校舎を撮影し、校内に掲示していた。		×	
89	4	山は登れるか		山崩れが心配なのであれば、校庭も危険である。山の側を通過して逃げるのも危険。		×	

## 「大川小学校付近における津波の挙動について」の考察

**福地より川上の水位計で釜谷付近の津波の挙動を推測するのは無理がある。  
目撃証言、津波後の状態をふまえて考えるべき。**

次のことをまだふまえていない、あるいは矛盾しています。

- (1) 波は福地に到達するまで、堤防決壊、橋げたの落下など、様々な影響を受けて遡上している。それをふまえれば、福地～飯野川のピークと同じ直線のグラフにはならない。ましてや、川下の方が流れが速いとすれば、釜谷への到達はもっと遅くなるはず。いずれにしても、遠く川上の福地以降の水位計で釜谷付近の津波を推測するのは無理がある。
- (2) 15:35に家を出たという証言がある。(釜谷町裏住民)
- (3) 津波からギリギリで逃げた人は三角地帯で、間垣に水が入る様子を見ている。
- (4) 釜谷地区は二重堤防になっている。間垣は北上川と富士川が離れている。
- (5) 大川小を襲ったのは、「三角地帯の信号よりはるか上」(三角地帯での目撃証言)「校舎の屋根を越えて」(平成23年3/16市教委への報告)という巨大な波



※大橋委員が述べた考察はある程度合っています。と言うか、私たちがこれまで把握していた状況を裏付けしてくれました。つまり、遡上した波はまず北上川の堤防からあふれて、①釜谷町裏地区に入ってきた。～釜谷地区の町裏に入ってきた水を見て逃げたという証言と合致。

※ただし、②大川中に到達した波の写真（第4回検証委員会の資料 P 7）のような波であるとすれば、大川小を襲った巨大な波ではない。しかも、釜谷地区は富士川との二重堤防で多少は弱められている。「津波が来ているから急ぎなさい」と教頭先生が言ったのはこの波。

※ギリギリで車で逃げた人は、間垣の堤防を越えた水で車が流されるのを見て、雄勝方面に逃げている（間垣の方が釜谷より早く、そういう状態になった。）

**①の後に、新北上大橋に松の木や瓦礫が橋に張り付き、巨大な壁が形成された。その壁で跳ね返った巨大な波が釜谷へ→児童を襲った波（小学校の時計を止めた波）③＝15：37**

※三角地帯の信号より高い、校舎の屋根を越えて、巨大な水の壁が襲ってきたという証言と合致。橋の高いところに当時の傷がついている。

※15：35に家を出て、大川小前を通ったという証言と合致

※15：37で止まっている小学校の時計、それより前に止まっている中学校の時計でも分かる。

※その後に海から遡上してきた波が到達④。（平成23年6月4日に市教委が説明、その他の証言もある。）翌日以降、捜索にあたった人の話によると、児童が発見された場所、堆積物の状態、谷地中の山の削れ具合などからもうかがえる。

※検証委員会は地形や町の様子をどれだけイメージしているのか、不安である。